

パネルディスカッション

ポストコロナ時代の構造変革の行方
—デジタル化・脱炭素化を展望して—

〈パネリスト（五十音順）〉

内 田 陽 介

（ 弁護士ドットコム株式会社
代表取締役社長 ）

西 本 利 一

（ 東京製鐵株式会社 代表取締役社長 ）

山 口 敦 CMA

（ SMBC日興証券株式会社
株式調査部シニアアナリスト ）

■司会者

吉 高 ま り

（ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
経営企画部副部長 プリンシパル・サステナビ
リティ・ストラテジスト ）

目

次

1. はじめに
2. 世界のデジタル化の波とそれが日本の産業に与える影響

3. 脱炭素化の動きとポストコロナの産業構造
4. 終わりに

1. はじめに

グリーンリカバリー政策

吉高 新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の国内第5波が収束に向かい、新規感染者数が減少したこのタイミングで、ポストコロナ時代には何が重要となるのか、今回のパネルディスカッションでは、サブタイトルに挙げた「デジタル化」「脱

炭素化」の二つのキーワードを中心に議論したい。

最近の世界の状況をみると、コロナ禍は経済に大きな打撃を与える一方で、異常気象が増えている。今年（2021年）のノーベル物理学賞は、地球温暖化の予測モデルを開発した眞鍋氏に贈られることが決まったが、この地球温暖化の予測モデルを基に、科学者たちは、産業革命以降、地球の平均気温は1℃上昇しており、このままいくと、

（このパネルディスカッションは、2021年10月8日（第36回日本証券アナリスト大会開催日）に行われた）